

さいたま市文化財時報

かや  
榎りぼーと

第62号

新たに国の登録有形文化財に登録された  
建造物を紹介します

平成28年8月1日、4件の建造物が国の登録有形文化財に登録されました。これにより、市内に所在する登録有形文化財は10件となりました。また、市内に所在する指定文化財は530件(うち市指定文化財は445件)あります(平成28年9月1日現在)。



▲長谷川家住宅旧店蔵及び主屋



▲長谷川家住宅文庫蔵



▲岩槻郷土資料館(旧岩槻警察署本庁舎・  
附属庁舎及び演武場)



▲旧岩槻警察署附属掲示場

●登録有形文化財

種 別	名 称	所 在 地	所 有 者
登録有形文化財(建造物)	長谷川家住宅旧店蔵及び主屋	さいたま市岩槻区本町	個人
登録有形文化財(建造物)	長谷川家住宅文庫蔵	さいたま市岩槻区本町	個人
登録有形文化財(建造物)	岩槻郷土資料館(旧岩槻警察署本庁舎・附属庁舎及び演武場)	さいたま市岩槻区本町	さいたま市
登録有形文化財(建造物)	旧岩槻警察署附属掲示場	さいたま市岩槻区本町	さいたま市

登録有形文化財(建造物) 長谷川家住宅旧店蔵及び主屋

岩槻は近世以来、木綿の集散地として栄え、長谷川家も明治30年頃まで白木綿問屋を営んでいました。

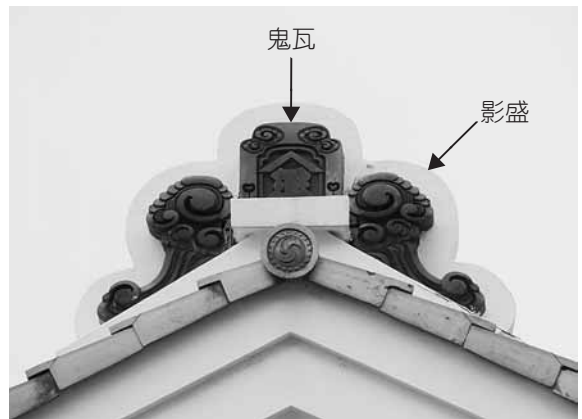
旧店蔵は南側の通りに面した土蔵造の2階建てです。明治前期に建てられたと推定され、漆喰塗の大壁や、塗り込められた出桁造の軒、影盛を施した大振りな鬼瓦などが見られ、関東地方の商家の特徴をよく示しています。

旧店蔵の正面入口から1m程内側には、上下に開閉する摺揚戸(現在のシャッターのようなもの)が残されており貴重です。

主屋は旧店蔵の後方に続く木造平屋建てで、明治前期に建てられたと推定されています。昭和56年頃に改築されていますが、天井をはじめ、立派な梁や部材は建築当時のままであり、良好な状態で保存されています。



▲昭和20年代の旧店蔵の正面のようす



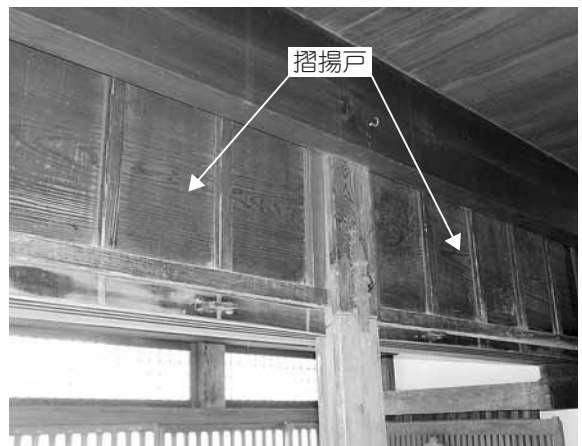
▲影盛を施した鬼瓦  
(鬼瓦の内には屋号「山平」と入れている)



主屋の天井(写真中央、左右に伸びる太い木材が建築当時から残されている梁)

出桁造とは

建物の軒先で、梁または腕木を柱より前面に突出させて、その先端に出桁を乗せている構造のことです。江戸時代以降の一般的な商家に見られるもので、軒を大きく全面に張り出した「出桁造」の立派な軒が商家の格を示したといわれています。長谷川家住宅では旧店蔵の2階の屋根に見られます。



▲旧店蔵正面内側の摺揚戸(上がっているようす)

## 登録有形文化財(建造物) 長谷川家住宅文庫蔵

文庫蔵は主屋の北西に位置する土蔵造の2階建てで、明治中期に建てられたと推定されています。正面には下屋を設け、2階正面の窓には銅板葺の庇を付けています。外壁は白漆喰を基調としながらも、窓回りや、1階出入口の上に渡した横材などの要所を黒漆喰で飾っています。現在も収蔵庫として利用されています。



▲2階の庇は銅板葺で、窓回りは黒漆喰で飾られている

## 登録有形文化財(建造物) 岩槻郷土資料館 (旧岩槻警察署本庁舎・附属庁舎及び演武場)

岩槻区を代表する近代建築の一つで、昭和5年に埼玉県土木課の設計により岩槻警察署として建築されました。昭和56年に改修し、昭和57年から岩槻郷土資料館として活用しています。

建物は鉄筋コンクリート造の2階建てで、装飾性を廃した合理主義様式を基調としていますが、丸窓など細部にアールデコ装飾が施されています。そのほか、アーチ窓や丸柱などの様式建築の名残が見られます。

埼玉県の昭和初期の建築として、鉄筋コンクリート造は貴重であり、かつ木造の演武場が併設され現在まで残されているのも貴重です。



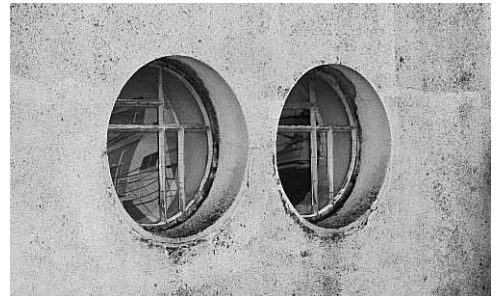
▲丸柱や天井のアーチが特徴的な展示室



▲岩槻郷土資料館の背面側(左奥の建物が旧岩槻警察署本庁舎・附属庁舎、右の建物が演武場)



▲2階階段のアーチ窓



▲屋上の丸窓

## 登録有形文化財(建造物) 旧岩槻警察署附属掲示場

旧岩槻警察署本庁舎と同時期に建てられたもので、かつては本庁舎の入口に建てられていました。岩槻郷土資料館開館後も入口にありましたが、平成21年に道路拡幅工事に伴い、資料館の敷地奥に移築されました。掲示場はコンクリート製で、本庁舎の入口と同様の意匠となっています。

### 登録有形文化財(建造物)とは

建築後50年を経過した建造物のうち、一定の評価を得たものを文化財として登録し、届出制というゆるやかな規制を通じて保存活用を図っていく文化財保護の制度で、平成8年の文化財保護法改正により導入されました。評価基準としては三点あり、次のいずれかに当てはまる建造物が登録の対象となります。

- 一 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- 二 造形の規範となっているもの
- 三 再現することが容易でないもの

※長谷川家住宅旧店蔵及び主屋、文庫蔵は、関東地方における明治期の商家の面影を良く示していることから「国土の歴史的景観に寄与しているもの」の基準により評価されました。岩槻郷土資料館、旧岩槻警察署附属掲示場は、埼玉県における昭和初期の建造物の特徴を良く示していることから「造形の規範となっているもの」の基準により評価されました。

# お知らせ

## □国指定史跡真福寺貝塚発掘調査現地見学会

真福寺貝塚の今後の整備に向けた発掘調査を実施しており、その成果を現地で紹介します。

日時：平成28年11月5日(土) ①10時～11時30分 ②14時～15時30分 ※小雨決行

場所：真福寺貝塚発掘調査現場(岩槻区城南三丁目)

事前申込不要。駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

詳しくはさいたま市の Web ページをご覧ください。文化財保護課(☎829-1724)までお問い合わせください。

## □国指定史跡見沼通船堀閘門現地説明会

再整備事業概要の説明や、見沼通船堀の模型を使って通船の仕組みなどを解説します。

日時：平成28年11月12日(土) ①10時 ②11時 ③13時 ④14時(各回とも約45分の予定)

場所：見沼通船堀東縁(緑区大字大間木・下山口新田地内)

定員：各回20名

申込方法：平成28年10月24日(月)から電話で文化財保護課(☎829-1723)に申込(先着順)

## □最新出土品展 開催中 見学無料

最新の発掘調査の成果を、出土品等で紹介しています。さいたま市立博物館(9月6日(火)～9月19日(月))での展示を終え、今後は下記の日程で市内を巡回します(会場によって展示資料が若干異なります)。

会 場	期 間	時 間
岩槻区役所 3 階ロビー(岩槻区本町3-2-5)	10月3日(月)～10月18日(火)	8時30分～17時15分 (土日祝は閉庁)
コクーンシティ コクーン2 3Fにぎわいスポット (さいたま新都心駅東口・大宮区吉敷町4-263-1)	11月8日(火)～11月22日(火)	10時～21時
浦和区役所 1 階ロビー(浦和区常盤6-4-4)	12月1日(木)～12月8日(木)	8時30分～17時15分 (土日は閉庁)

## さいたま市内指定無形民俗文化財の公開カレンダー(平成28年10月～平成29年1月)

天候などにより日程が変更することもありますので、詳しくはさいたま市の Web ページをご覧ください。文化財保護課(☎829-1723)までお問合せください。見学無料。

名 称	日 時 ・ 場 所 ・ 内 容
田島の獅子舞(市指定)	10月2日(日) ①15時～ 田島氷川社(桜区田島4-12-1) ②16時～ 四谷稻荷社(南区四谷3-7-34) 三頭の獅子が笛の音にあわせ、太鼓を打ちながら優美に舞います。
南部領辻の獅子舞 (市指定)	10月16日(日) ①13時～、②15時～ 鷲神社(緑区大字南部領辻2914) 別名「電頭の舞」、三頭の獅子による勇壮な獅子舞です。
岩槻の古式土俵入り (釣上地区)(国指定)	10月16日(日) 13時30分～ 釣上神明社(岩槻区大字釣上220) 子どもたちが古くから伝わる土俵入りの型を披露します。
一山神社冬至祭(市指定)	12月21日(水) 14時～ 一山神社(中央区本町東4-10-14) 一年間の穢れを祓い、新年の無病息災を願う火渡りを行います。
指扇の餅搗き踊り(市指定)	1月1日(祝) 0時～ 五味貝戸自治会館(西区指扇291) 曲芸風に杵を扱う「曲搗き」などを披露します。
日進餅つき踊り(市指定)	1月1日(祝) 0時～ 日進神社(北区日進町2-1194) 年明けの鐘とともに始まる餅つき踊りです。